

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	経済学部	身分	准教授
氏名	千葉 謙悟		
NAME	Chiba Kengo		

1. 研究課題

(和文) 域外資料に基づく近代中国語研究

(英文) Modern Chinese neologisms in overseas' materials

2. 研究期間

2 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本研究は 19 世紀中国において西欧語に対応するべく創造された翻訳語の現在に至るまでの意味変化を記述することを目的とする。当研究計画の背景には私が研究を続けている近代翻訳語の形成過程の解明というテーマがある。本計画では、研究期間を利用して 19 世紀中国語における語誌を記述してその現在に連なる意味変化を分析することをめざした。

具体的な成果は三点にまとめられる。第一に、中国人の手になる初のイタリア遊記である『西遊筆略』にみえる翻訳語を分析し、それらを近代翻訳語の流れの中に位置づける作業を行った。第二に、「奇跡」という翻訳語の分析を通じて日本語および中国語における意味変化を跡づけた。さらには漢字文化圏全体にわたる語誌を記述するという試みのために朝鮮語における「奇蹟」の状況も 3 月の国際シンポジウムで発表した。第三に、自説を広く一般に紹介すべく「合衆国」の語構成、成立および伝播過程について概説する論文を投稿した。拙論を含む論文集が 2013 年度中に公刊される予定である。

(英文)

As Western Materials plays an important role in the field of neologisms in modern East Asia, I described a word-history on “kiseki(qiji)” for miracle and “gasshuukoku(hezhongguo)” for The United States. Moreover I focused on *Xiyou Bilüe*(An Brief Sketch for a travel for the West), analyzed neologisms in that travel diary.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>・千葉謙悟（2012）「欧行記・文化交流・翻訳語 -郭連城『西遊筆略』（1863）初探-」『中国への多角的アプローチ』中央大学出版部、pp. 1-46</p> <p>・千葉謙悟（2012）「近代中日詞彙交流個例研究 -「奇跡」詞義的演变」『日語教学与研究』第3期、pp. 8-15 【査読有】</p> <p>・千葉謙悟（2013）「近代学術と漢字翻訳語 -日本と中国における「合衆国」の展開-」『近代学問の起源と編成』、勉誠出版（印刷中）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>・千葉謙悟「「聖」か「奇」か -翻訳語「奇跡」と日中語彙交流」第103回漢字漢語研究会、早稲田大学、2012年2月</p> <p>・千葉謙悟「“奇跡”的1000年：近代中日詞彙交流個例研究」世界漢語教育史研究学会第四届年会、韓国外国語大学、2012年8月 【査読有】</p> <p>・千葉謙悟「聖なる“しるし”の表し方：近代東アジアの「奇蹟」」国際シンポジウム：越境する近代語：中国・日本・韓国、高麗大学、2013年3月</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>